

【作り方説明書】

丸襟後開きブラウスの型紙

■詳細対応サイズ ・40cm ソフビ	■難易度 イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地の厚み 0.23mm	■用意するもの ・普通～やや薄手の生地 ・面ファスナー ・飾りボタン ・3mm 程度の平ゴム
■手縫い可否 NG ※袖口にゴムを縫い付けない場合は手縫い OK	■布に書き写すパーツリスト ①前身頃 1枚→そのまま1枚 ②後身頃A 1枚→ // ③後身頃B 1枚→ // ④前見返し 1枚→ // ⑤襟A 表布 1枚→ // ⑥襟B 表布 1枚→ // ⑦襟A 裏布 1枚→左右反転して1枚 ⑧襟B 裏布 1枚→ // ⑨⑩後見返し 2枚→左右反転して2枚 ⑪⑫袖 2枚→ // 合計：12枚 のパーツで構成

■必要な布量参考数値

【丸襟後開きブラウスの型紙 40cm】

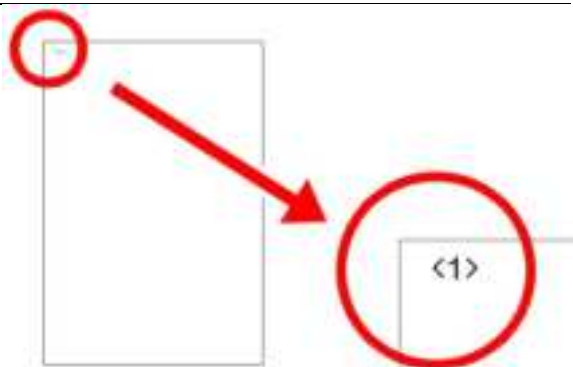
横90,110,140cm



01. 型紙を貼り合わせる

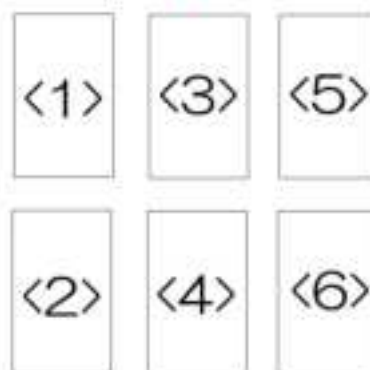
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載
※①～④の右図は全型紙共通で
使用しています。
型紙の種類によって貼り合わせる
枚数、数字は違います。
枚数、貼り合わせ数字については
各型紙をご覧ください。〕

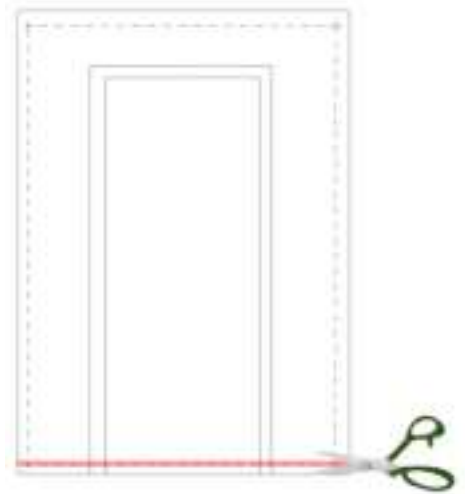


② <1>の型紙に記載されている通りに
型紙を並べる。

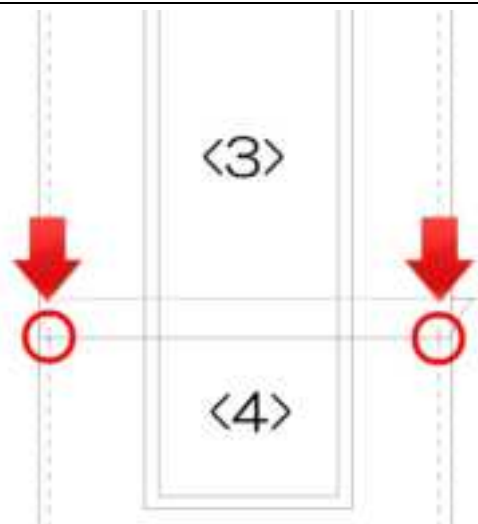
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」
という箇所に記載。〕



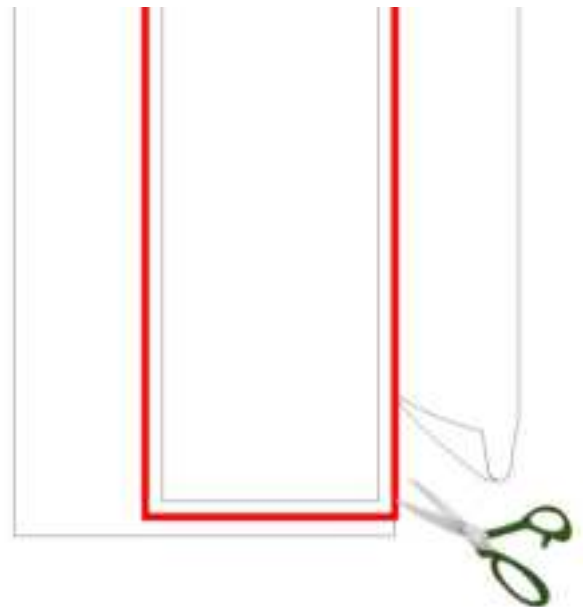
③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。



④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。

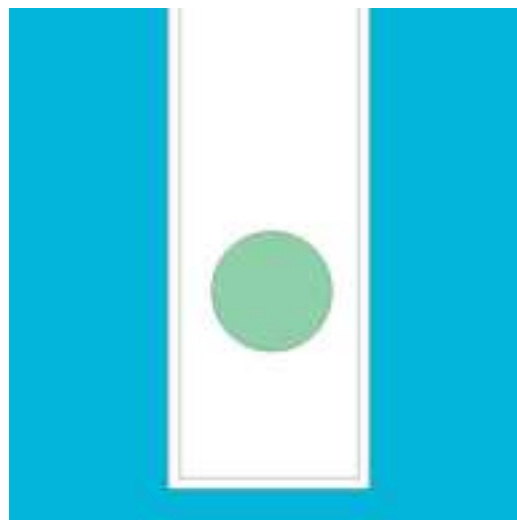


02. 型紙を切り取る。



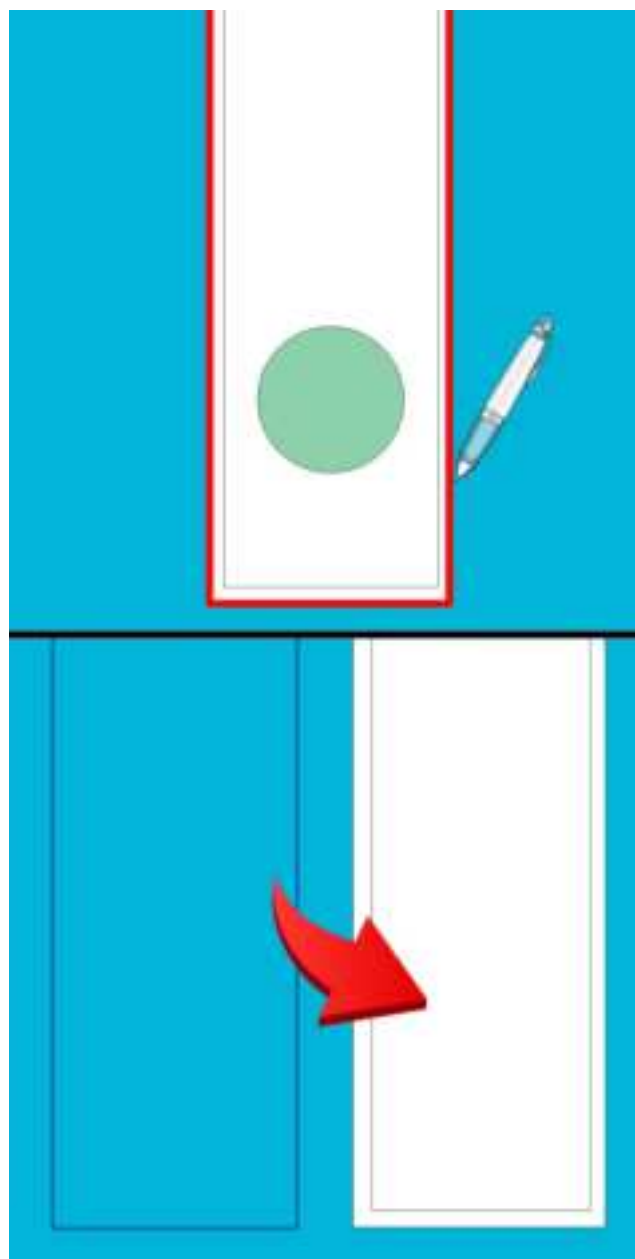
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

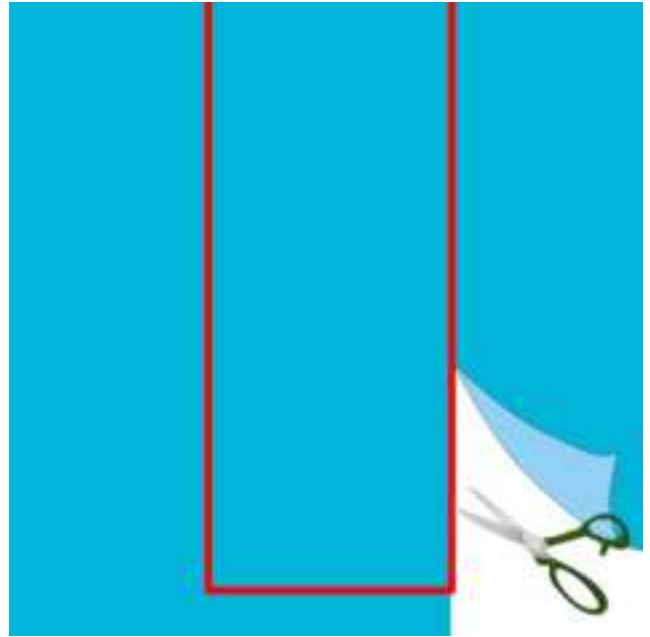


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

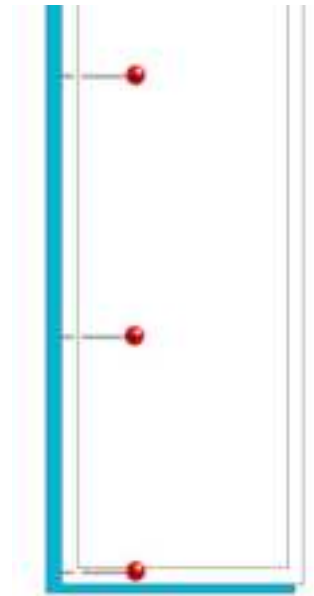


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

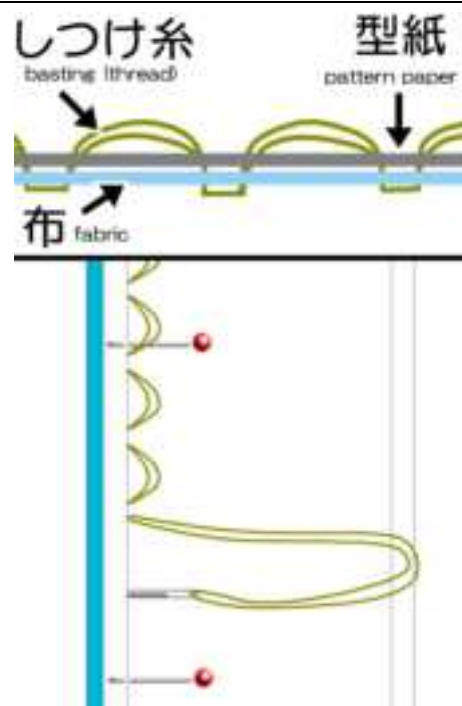
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

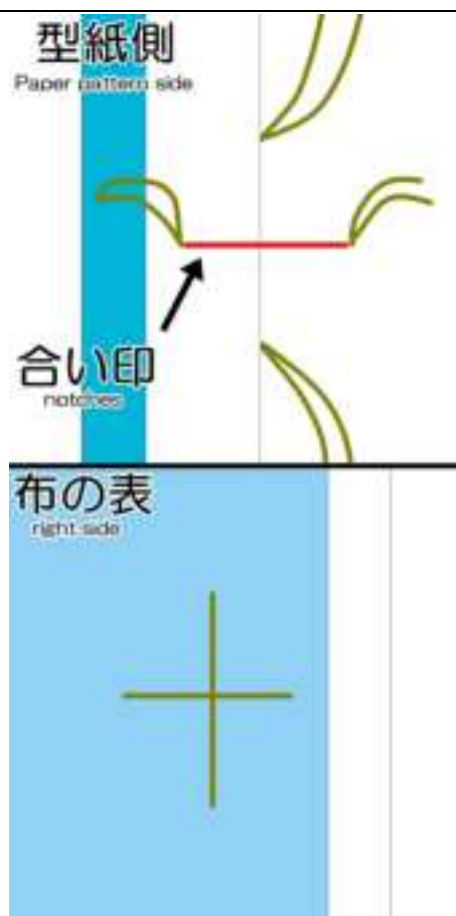
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔 上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、
アイロンか指で糸を寝かせる。



08. 前身頃の中央を”裏から見て”山折と谷折にする。



09. 折ったところにアイロンをかける。

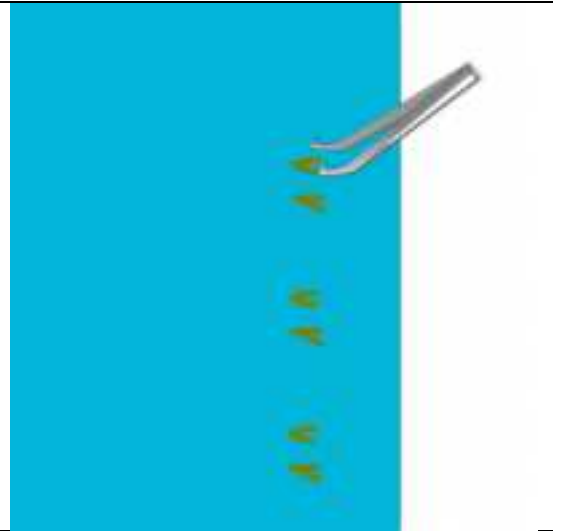


10. 09 でアイロンをかけた縁を縫う。



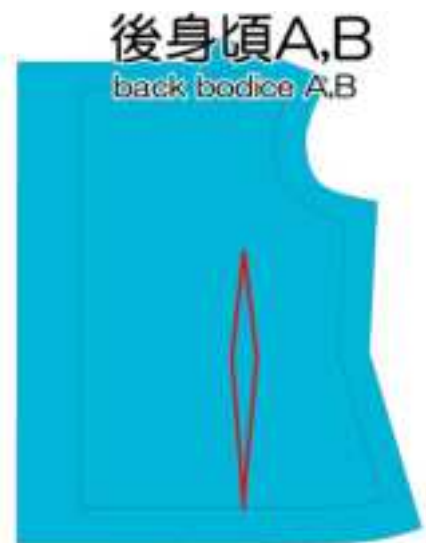
11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

- 〔 しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



12. 前身頃、後身頃 A,B のダーツを縫う。

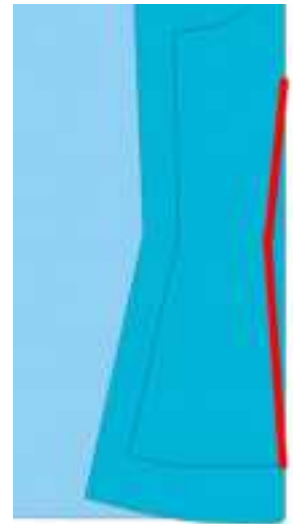
ダーツ：布を三角形に細く折って、縫った部分



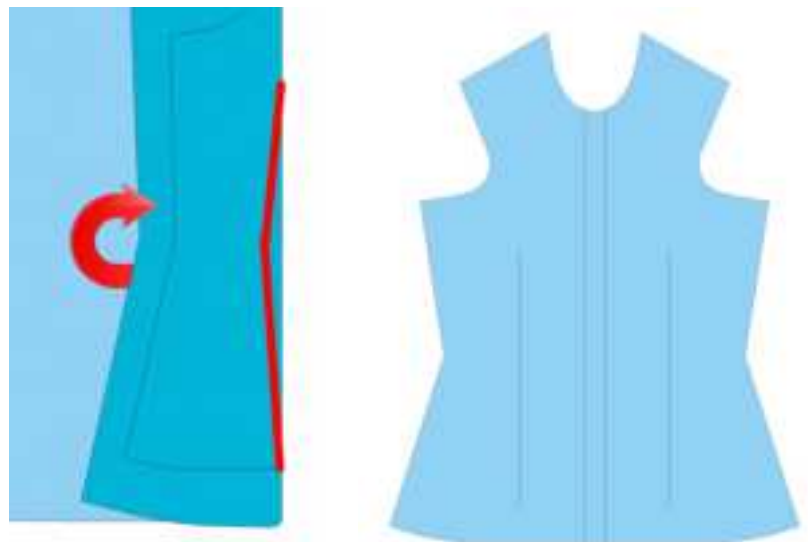
表が内側になる様に、ダーツの中心で折る。



斜めになっている線を縫う。



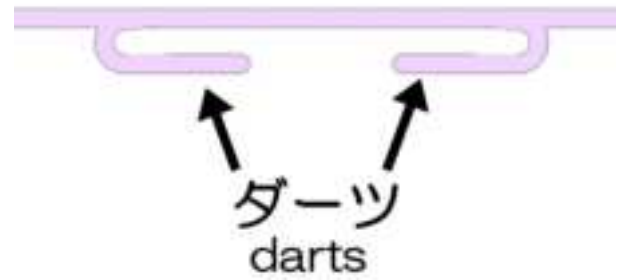
縫ったところを中心に開く。



前身頃の反対側、後身頃 A,B も同じように縫う。

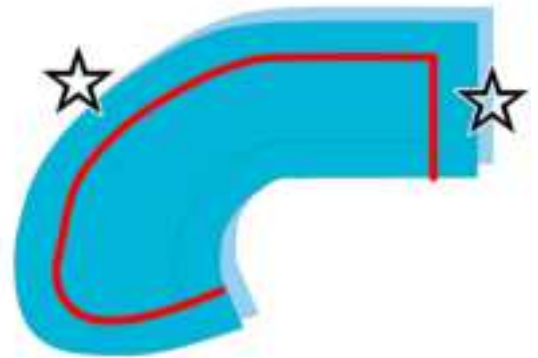
13. ダーツは中央へ倒してアイロンをかける。

下から見た時
View from below



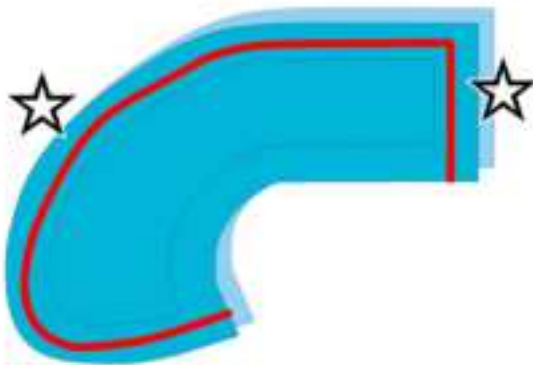
14. 表が内側になるように、襟 A 表布と裏布を合わせて縫う。

- 〔 ☆側だけを縫う。
- 〔 襟 B も同じように縫う。



15. 縫い代を 3mm 程度にカットする。

- 〔 ☆側だけをカットする。
- 〔 襟 B も同じようにカットする。



16. ひっくり返して、角とカーブを整える。

- 〔 襟 B も同じように整える。



17. 襟 A,B にアイロンをかける。



18. 前見返し、後見返し×2 にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 解れ止め液でもよい。〕

〔 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。〕

〔 布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。〕



前見返し
front facing



後見返し
back facing



19. 前身頃、後身頃 A、後身頃 B の W に切り込みを入れる。

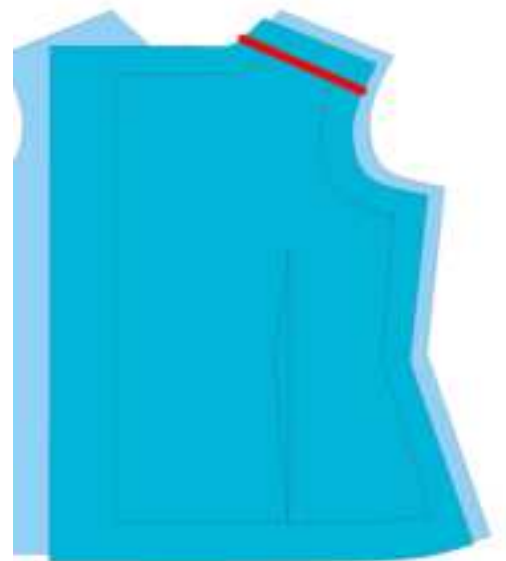
〔 W:ウエスト。胴体で一番くびれたところ。〕



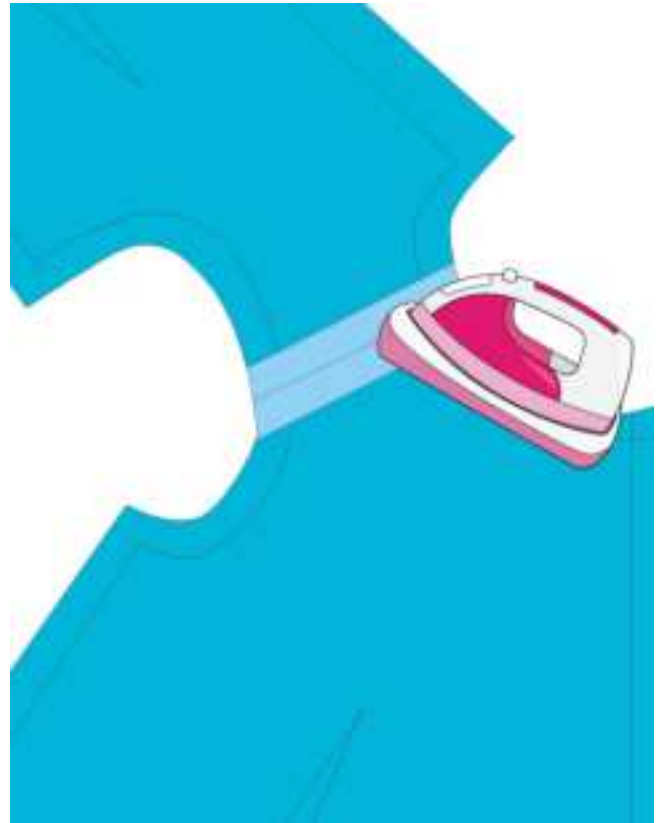
20. 前身頃、後身頃 A,B、袖×2 にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



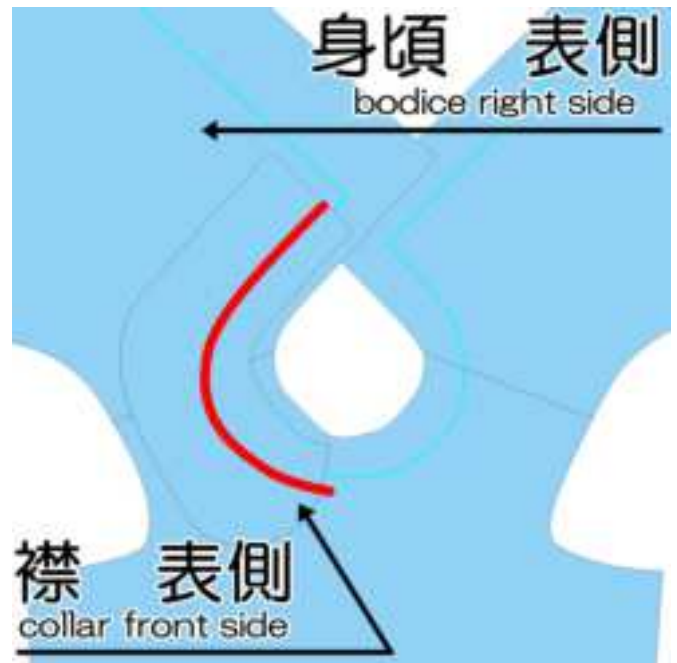
21. 表が内側になるように、
前身頃と後身頃 A の 肩 を合わせて縫う。
〔後身頃 B も同じように縫う。〕

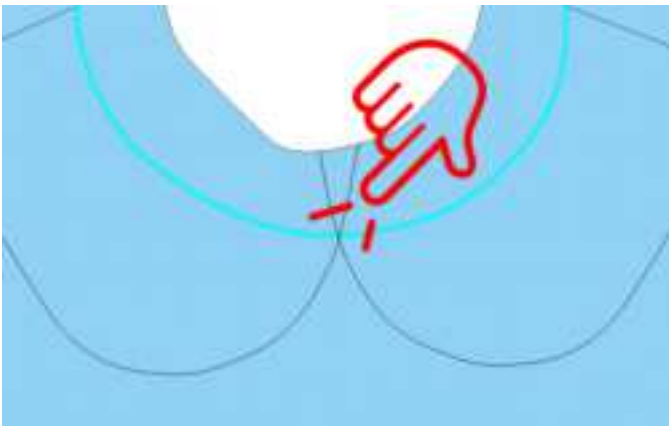


22. 縫い代を開いてアイロンをかける。
 [反対側も同じようにアイロンをかける。

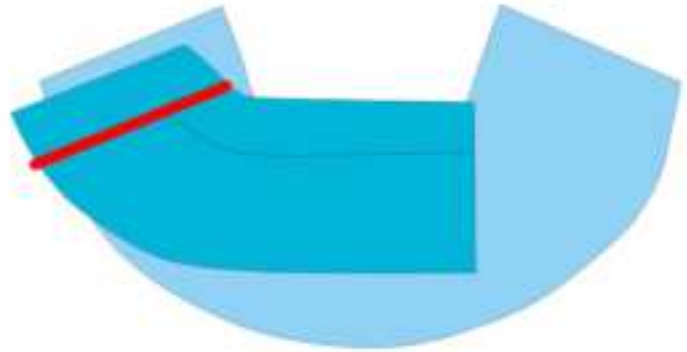


23. 身頃 表 に襟 表 を合わせて仮縫いする。
 [前中心に襟をしっかりと合わせると、出来上がりが綺麗になる。
 後身頃 後中心の出来上がり線に襟の端が合うようにする。
 [縫う前に、身頃の上に襟を置き、長さを確認する。





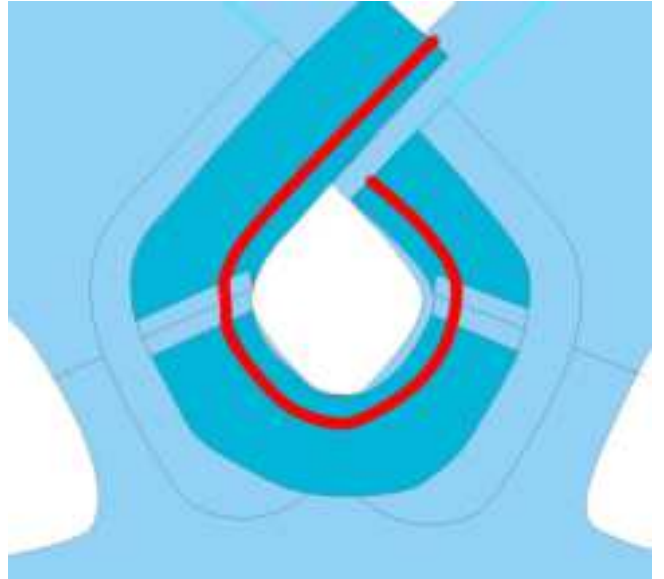
24. 表が内側になるように、
前見返しと後見返しを合わせて縫う。
〔反対側も同じように縫う。〕



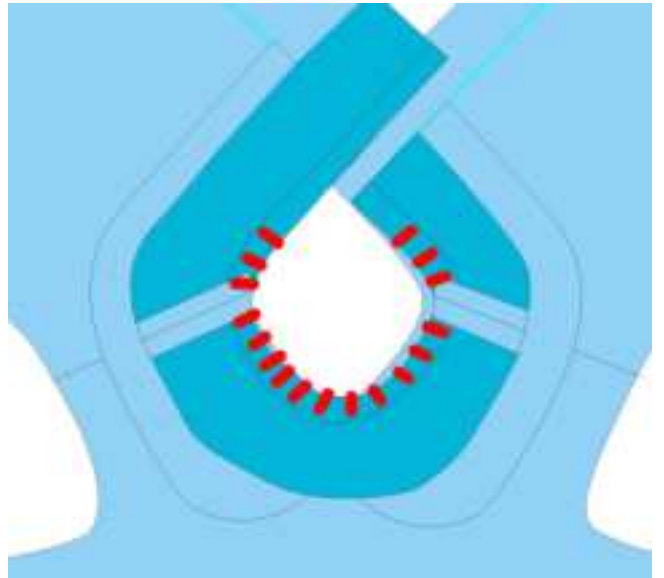
25. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



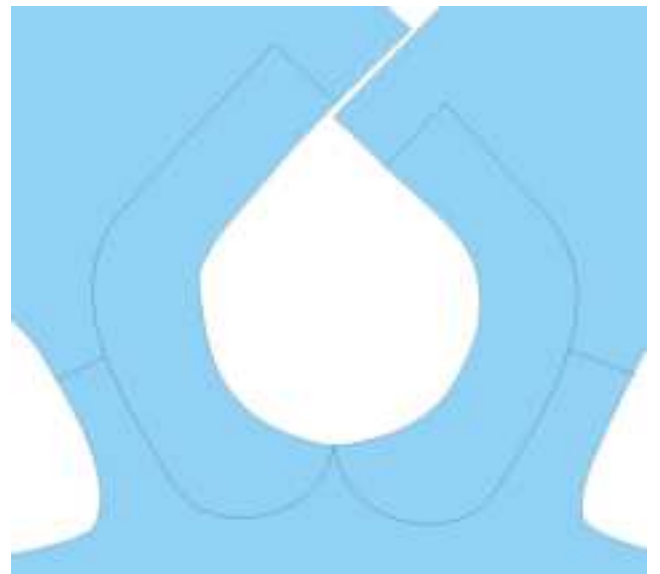
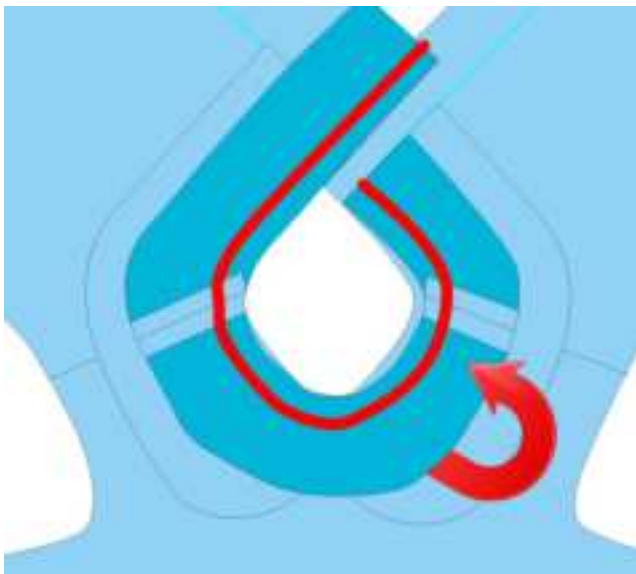
26. 表が内側になるように、
23 の身頃と見返しを合わせて縫う。



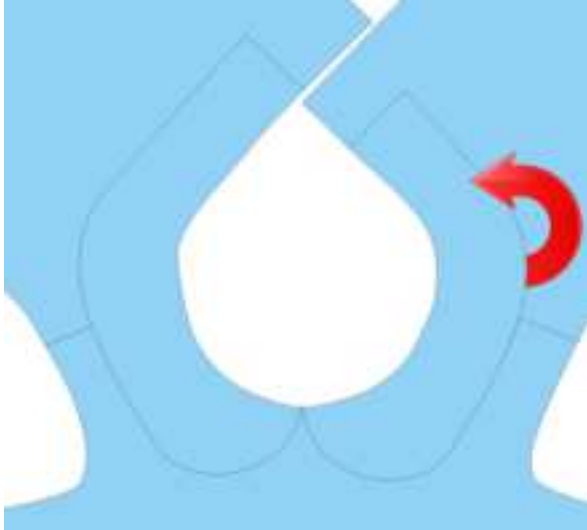
27. 襟のカーブに切り込みを入れる。



28. 見返しを折り返す。

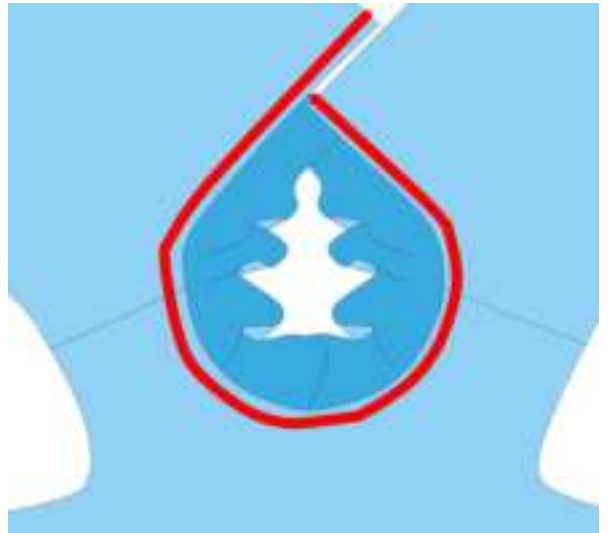


29. 襟を持ち上げ、内側に移動する。



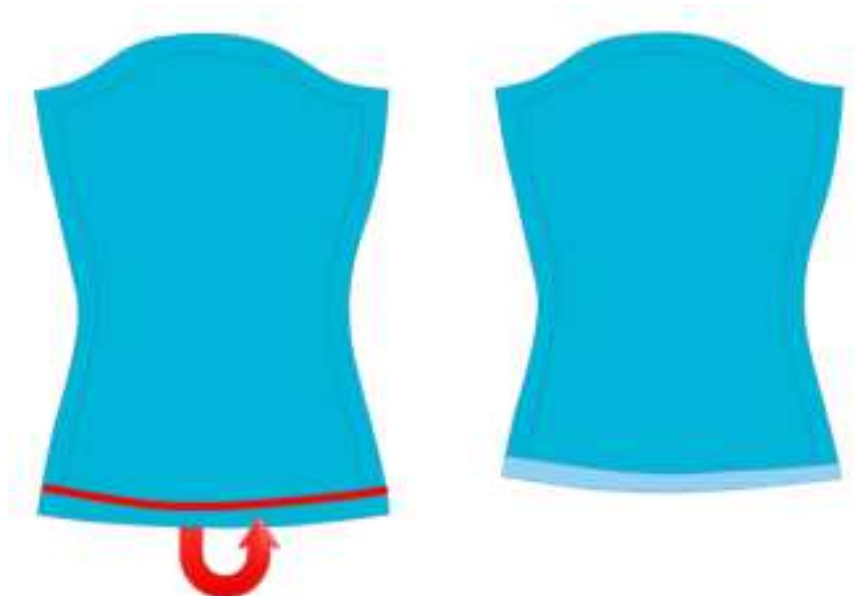
30. 縁を縫う。

〔襟を巻き込まない様に注意。〕



31. 袖口を折る。

〔反対側も同じように折る。〕



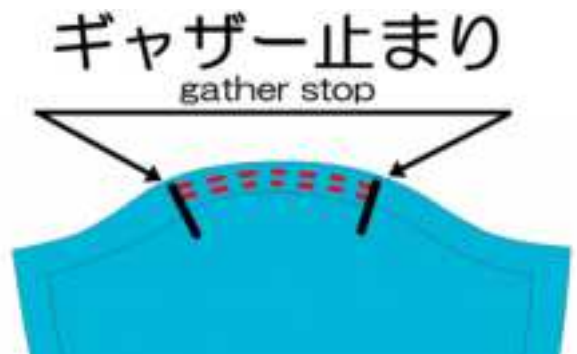
32. 縁を縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕



33. 袖山の ギャザー止まり の間にギャザーを寄せる。

〔反対側も同じようにギャザーを寄せる。〕



① ミシンの上糸の糸調節を“弱”にする。

〔ダイヤルの場合は0にする。〕



② 縫い目の長さを 4mm 程度にする。

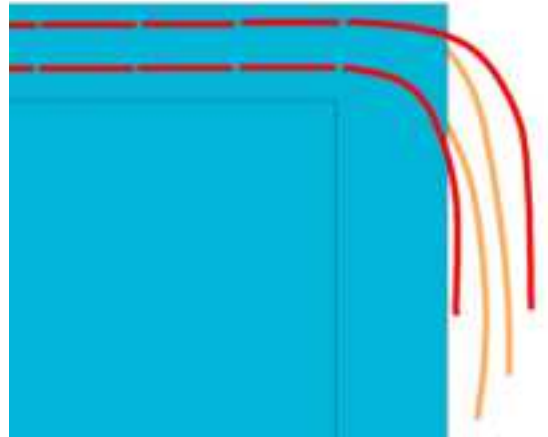


③縫い始めの糸は上下共に 10cm 以上出しておく。

〔 上糸と下糸の色を変えておくと、
後でわかりやすい。〕



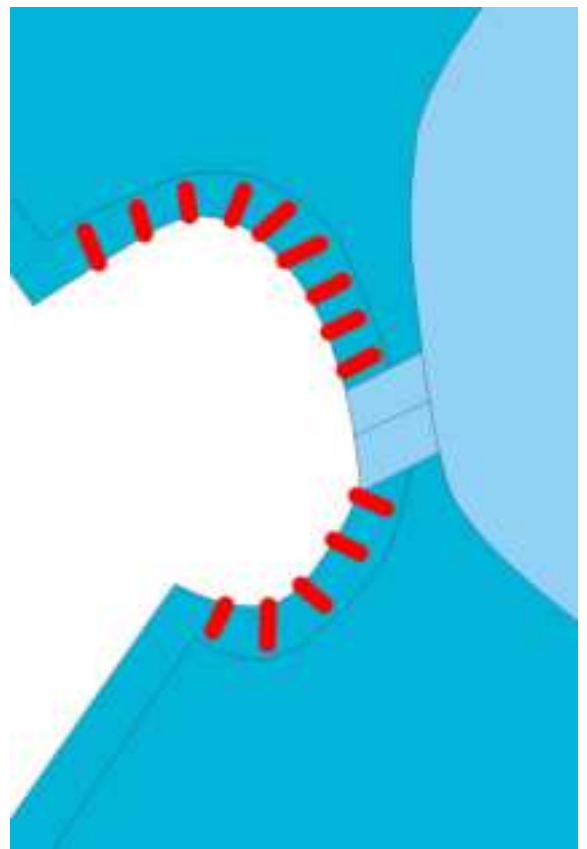
④布の端から 2mm 程度のところを縫い、
縫い終わりの糸も 10cm 以上残して切る。
2 本目は布端から 4mm 程度のところを縫う。



⑤上糸の調節 (①) と、縫い目の長さ (②) を元に戻す。

34. 袖ぐりに切り込みを入れる。

〔 袖ぐり：袖を付ける為の身頃側のカーブ
反対側も同じように切り込みを入れる。〕



・袖口にゴムを入れない場合は 39 へ

※ゴムを入れない場合は、簡易的な姫袖風になります。

ゴムの縫い付け無し no sewn elastic



・別の方法で袖口にギャザーを寄せる場合は TIPS(最終ページ) へ

35. 平ゴムを必要なサイズに切って、
端から 5cm のところに印を入れる。

〔 40cm ソフビ→10.2cm



36. 袖口の ギャザーを寄せる に平ゴムの端の片方合わせて縫う。

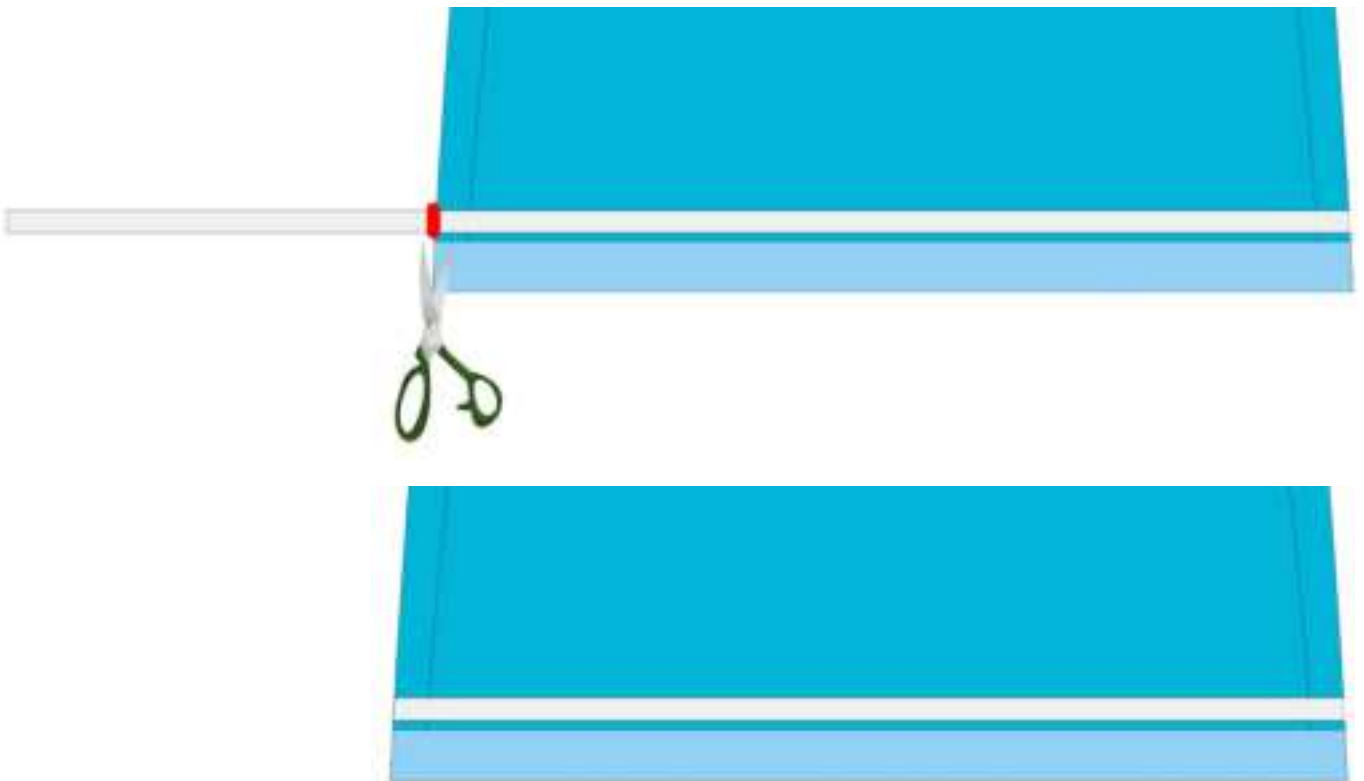


37. ゴムを伸ばしながら縫いつける。

“5cm”の部分は縫う際に”持ち手”として使う。
縫い進めるとゴムの力で丸まって来て縫い辛くなる為、
大き目のクリップ等で縫い代を挟んで、
軽く重りを付けると良い。
※画像は生地下にセロファンを挟んでいますが、
伸びない生地の場合は無くても縫えます。
反対側も同じように縫う。

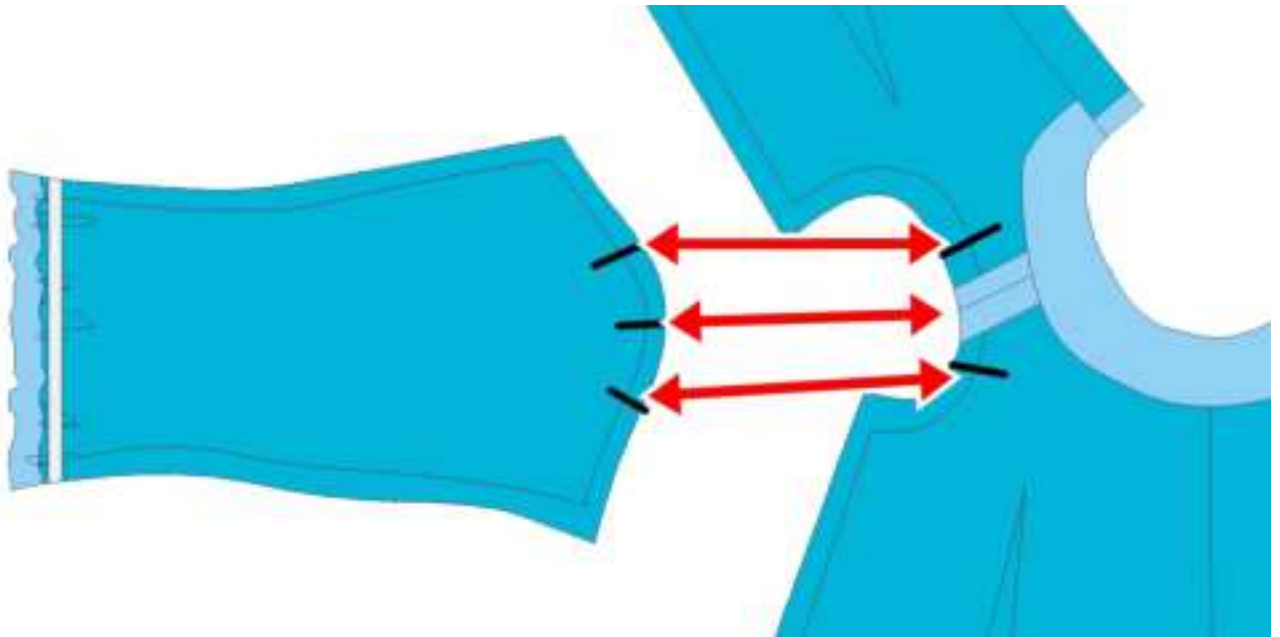


38. 余分なゴムを切り落とす。



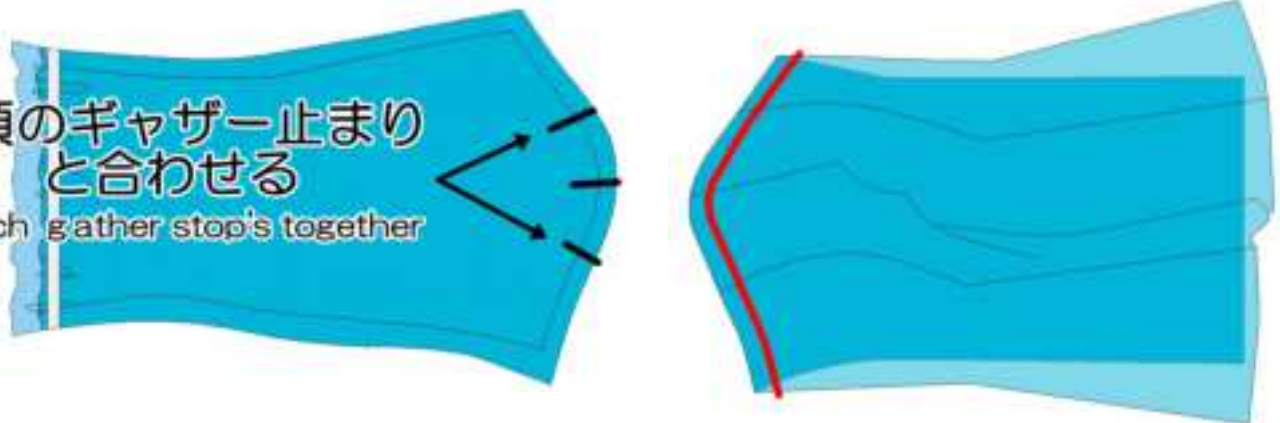
39. 表が内側になる様に、袖と袖ぐりを合わせて縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕



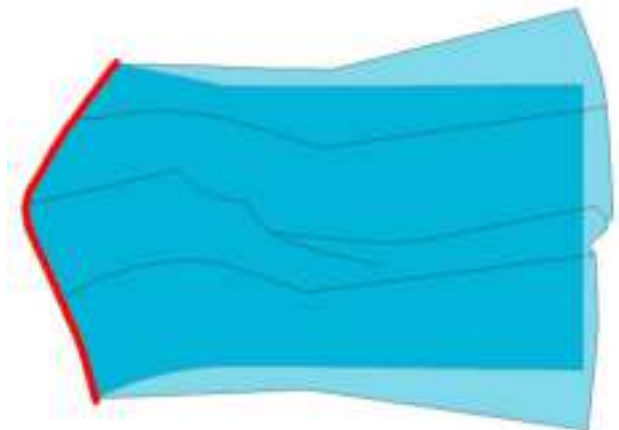
身頃のギャザー止まり
と合わせる

match gather stop's together

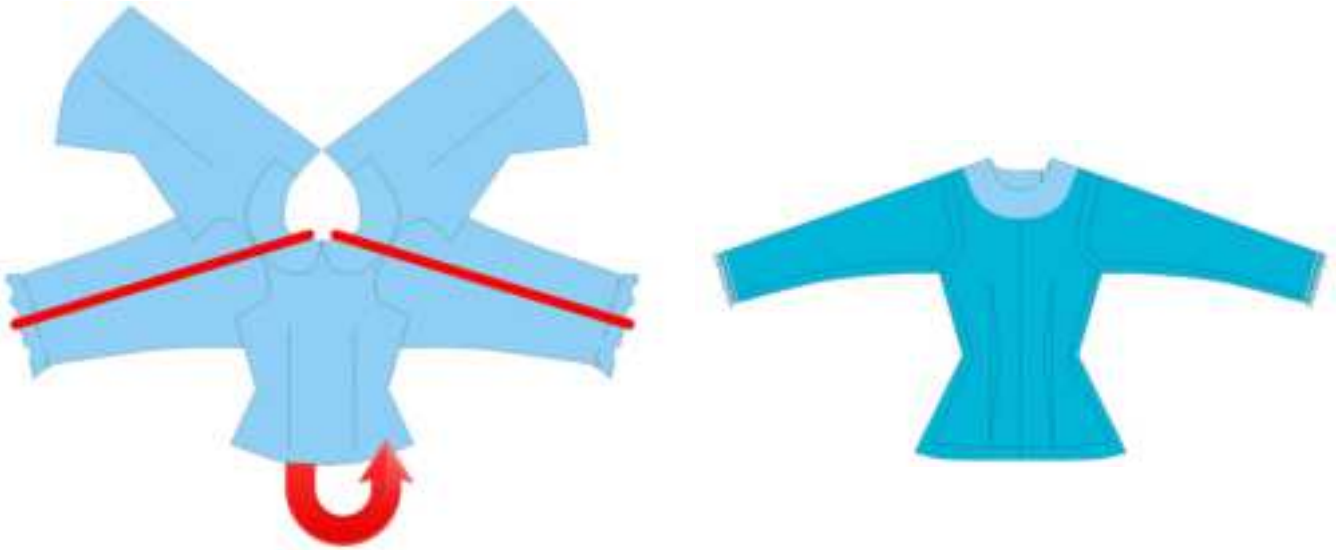


40. 縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 袖と身頃を一緒に縫う。
反対側も同じように縫う。〕



41. 表が内側になる様に、半分に折る。



42. 袖口から裾までを縫う。
〔縫い代を袖側に倒す。〕



43. 表に返す。

44. 身頃裾にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



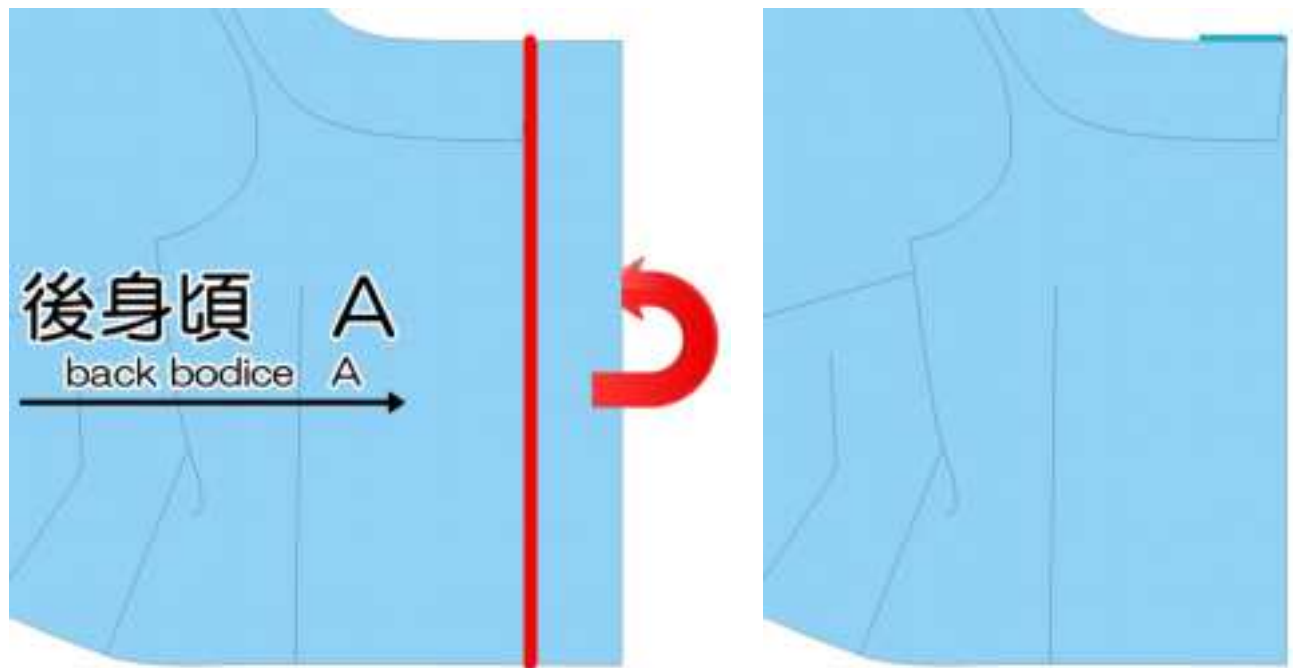
45. 裾を内側に折って、端を縫う。



46. 端を縫う。



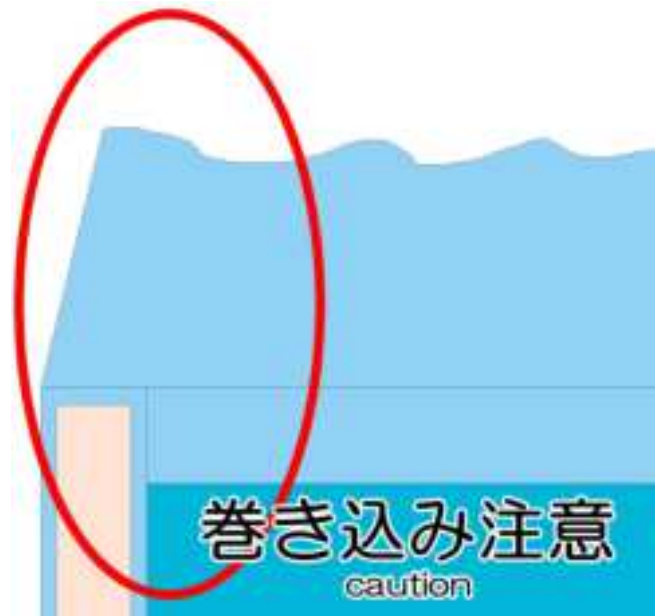
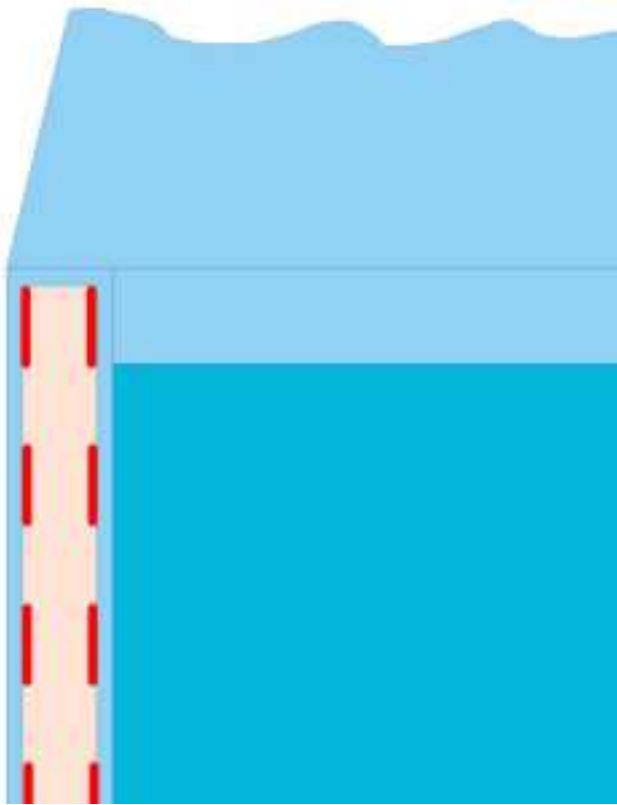
47. 後身頃 A の縫い代を折る。



48. 面ファスナーをオス、メス各 10.5cm×0.7cm に切る。

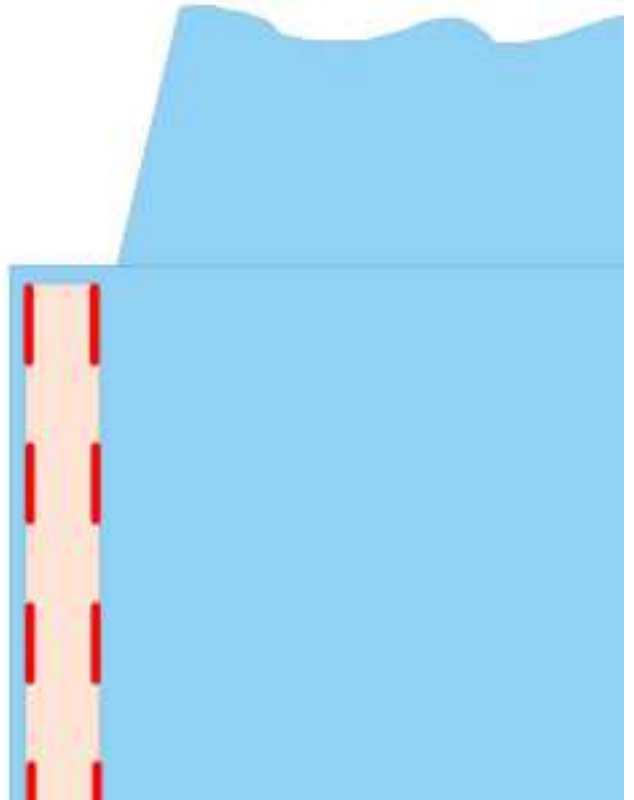
49. 後身頃 A の裏に面ファスナーを仮縫いでとめる。

〔襟を巻き込まない様に注意。〕

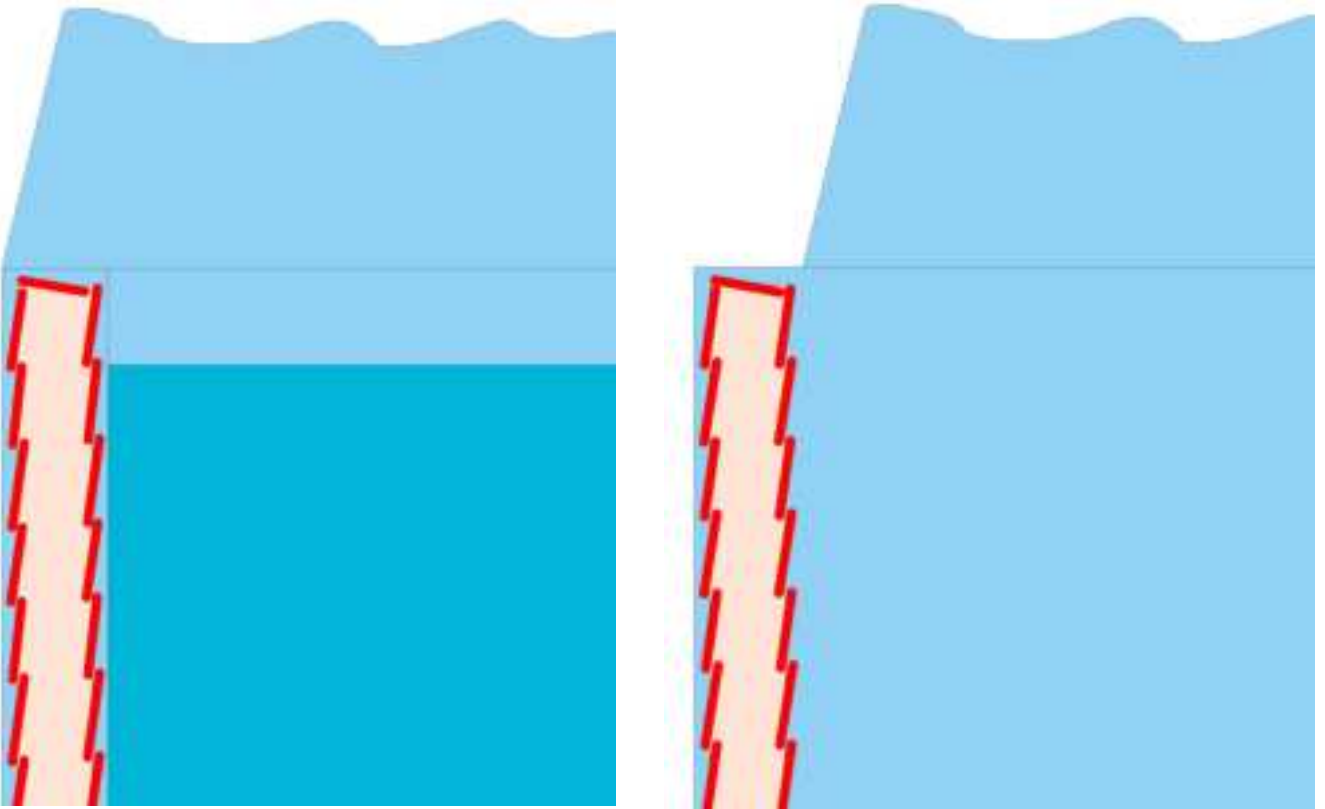


50. 後身頃 B の表に面ファスナーを仮縫いでとめる。

〔襟を巻き込まない様に注意。〕



51. 仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いかミシンで縫い付ける。

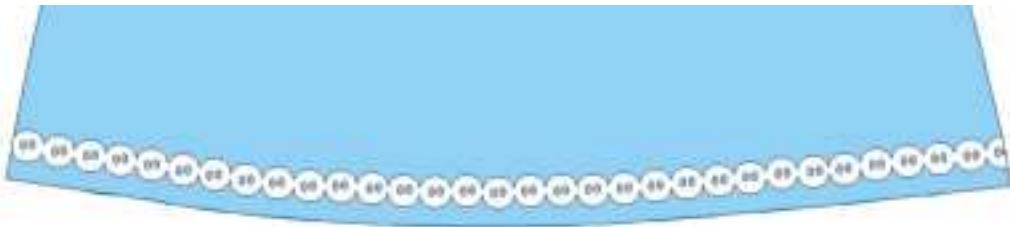


52. 前身頃中央に飾りボタンを付ける。

TIPS：別の方法で袖口にギャザーを寄せる

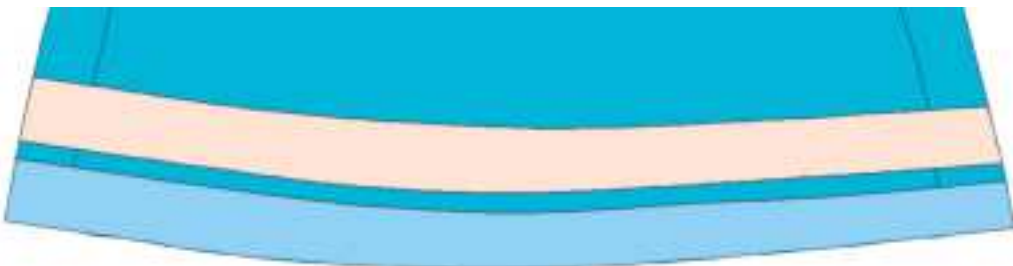
[案 1]梯子レース+リボン

リボンは先に端を縫い付けても、脇を縫った後で梯子レースに通しても良い。



[案 2]ゴム通しパーツを作る

裏から縫い付けゴムを通す。



お疲れ様でした！